



Webサイト運用の成功に向けたSitecore機能・運用方法のご紹介

株式会社NTTデータ ニューソン
地域事業部東海事業所CXテクノロジー担当
山本 繁彦
2023年8月9日

Agenda

1. 会社のご紹介
2. Sitecore機能・運用方法のご紹介

NTTデータ ニューソンのご紹介

株式会社NTTデータ ニューソンのご紹介

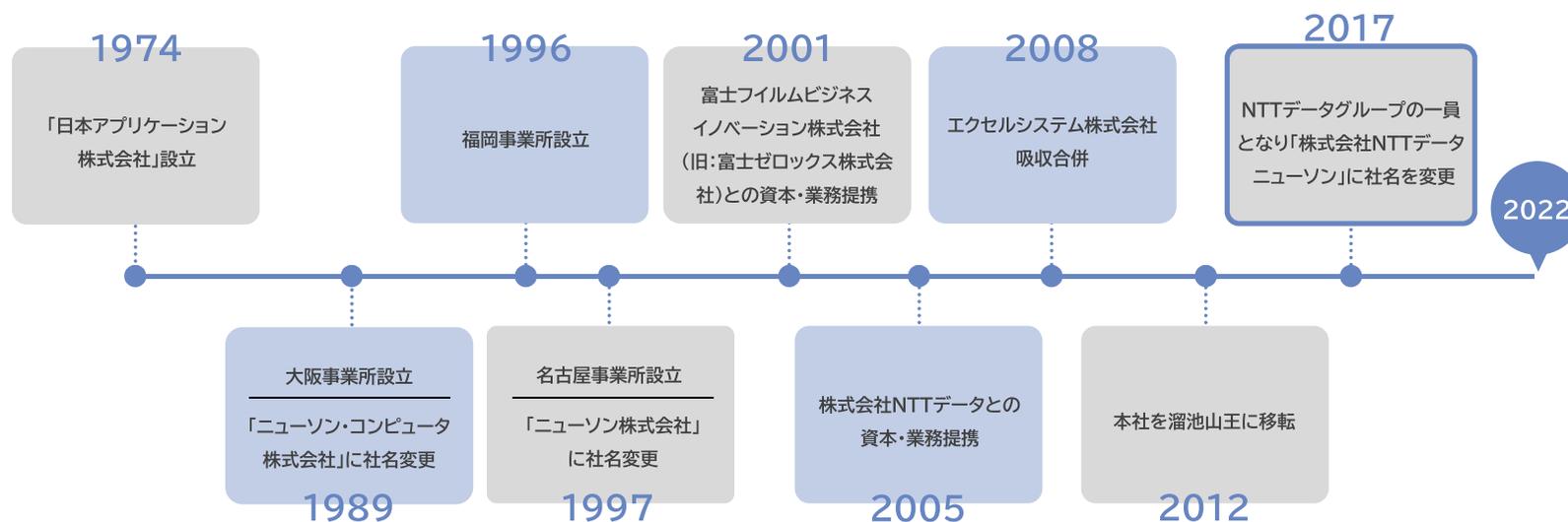
社名	株式会社NTTデータ ニューソン (NTT DATA NEWSON CORPORATION)
設立	昭和 49 年 2 月 21 日 (1974 年)
資本金	1億円
代表者	代表取締役社長 戸村 元久
役員	取締役執行役員 西村 弘二 取締役 高橋 一裕 取締役執行役員 中川 慶一郎 取締役 喜多 淳一郎 取締役執行役員 大島 悦史 監査役 小糸 健史 執行役員 岡 秀樹 執行役員 宮崎 諭
親会社	エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社
社員数	530名 (2023 年 5 月現在)
売上高	9,323百万円 (2022 年度)
本社所在地	東京都港区赤坂2-2-12 NBF 赤坂山王スクエア 5F・6F
URL	https://www.newson.co.jp/
事業所	高輪オフィス／東海事業所／関西事業所／九州事業所
事業内容	情報システムの企画、設計、開発、保守、運用、労働者派遣、その他これらに関する一切の事業

NTT DATA

株式会社NTTデータ ニューソン

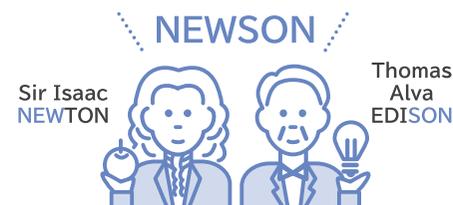


株式会社NTTデータ ニューソンの歴史



社名の由来

「ニューソン:NEWSON」の社名は、ニュートンとエジソンの名前を掛け合わせています。
科学者ニュートンの確固たる技術力、そして発明家エジソンの柔軟な発想を身上に
昭和49年の設立以来、システムインテグレータとして
ソフトウェアとハードウェアの融合を行っています。



あなたの“ Best IT Partner ”であることを目指して



当社はアプリケーション開発、IT基盤、そして デジタルソリューション という3つのサービスを柱とし、日々技術と実績を蓄積し続けています。幅広い領域におけるノウハウと最新のテクノロジーを組み合わせ、お客様に対して多角的な視点を持ち、課題解決そして更によりよいサービスをご提案、ご提供いたします。

アプリケーション開発、IT基盤、そして デジタルソリューション という3つのサービス

 Application Development アプリケーション開発
BPM
intra-mart プロフェッショナルサービス
IM-QuickActivate
契約ライフサイクル・マネジメント
割賦販売システム(オートローン)
CMS
生産管理システム
mcframe
生産技術革新 プロフェッショナルサービス
ローコードプラットフォーム(LCP)を活用し た開発

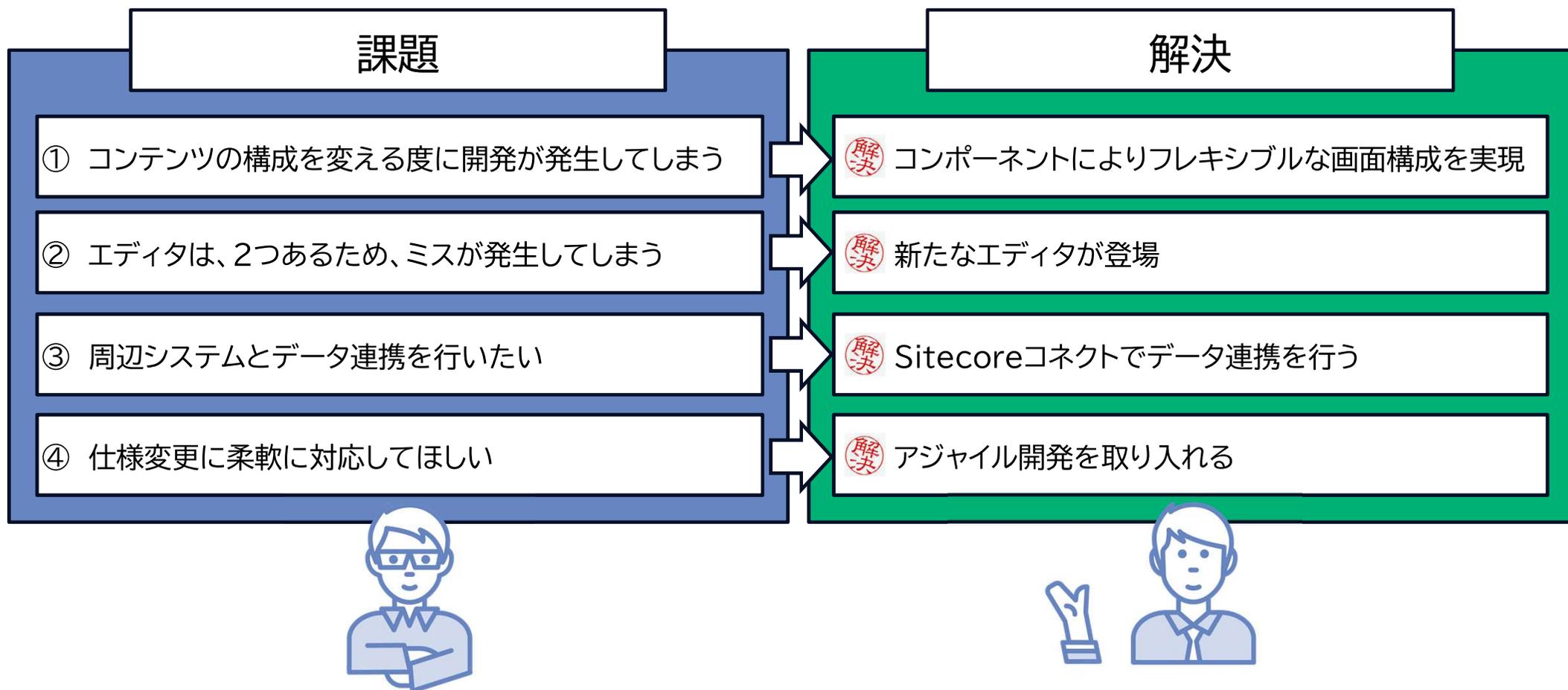
 IT Infrastructure IT基盤
クラウドインテグレーション
IaC導入支援サービス
OSS基盤 プロフェッショナルサービス
分散処理基盤
運用高度化
サイバーセキュリティ
プライベートSOC 運用支援サービス

 Digital Solution デジタルソリューション
Agileプロフェッショナル タレントプール
組込/IoT
車載システム開発
Automotive SPICEプロセス適用/アセ スメント支援サービス
SNOWFLAKE データクラウド
デジタルマーケティング 支援
グローバル経営管理 Board

Sitecore機能・運用方法のご紹介

Webサイト運用で発生する課題と解決策

SitecoreでWebサイトを運用していく中で、様々な課題が発生しているはずですが、本日は、一部の解決事例をご紹介しますことで、お役に立てれば幸いです。



事例① コンポーネントによりフレキシブルな画面構成を実現

Webサイトを運用していく中では、新たなレイアウトでコンテンツを表現したいニーズが生まれます。

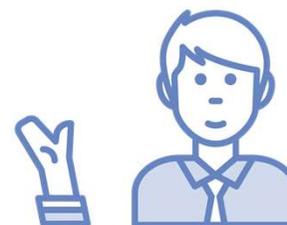
現状

- ▶ 色々なコンテンツを作成したいが、ワイヤーフレームを変える度に開発が発生してしまう



理想

- ▶ ワイヤーフレームが変わっても、開発せずにコンテンツを作成出来る



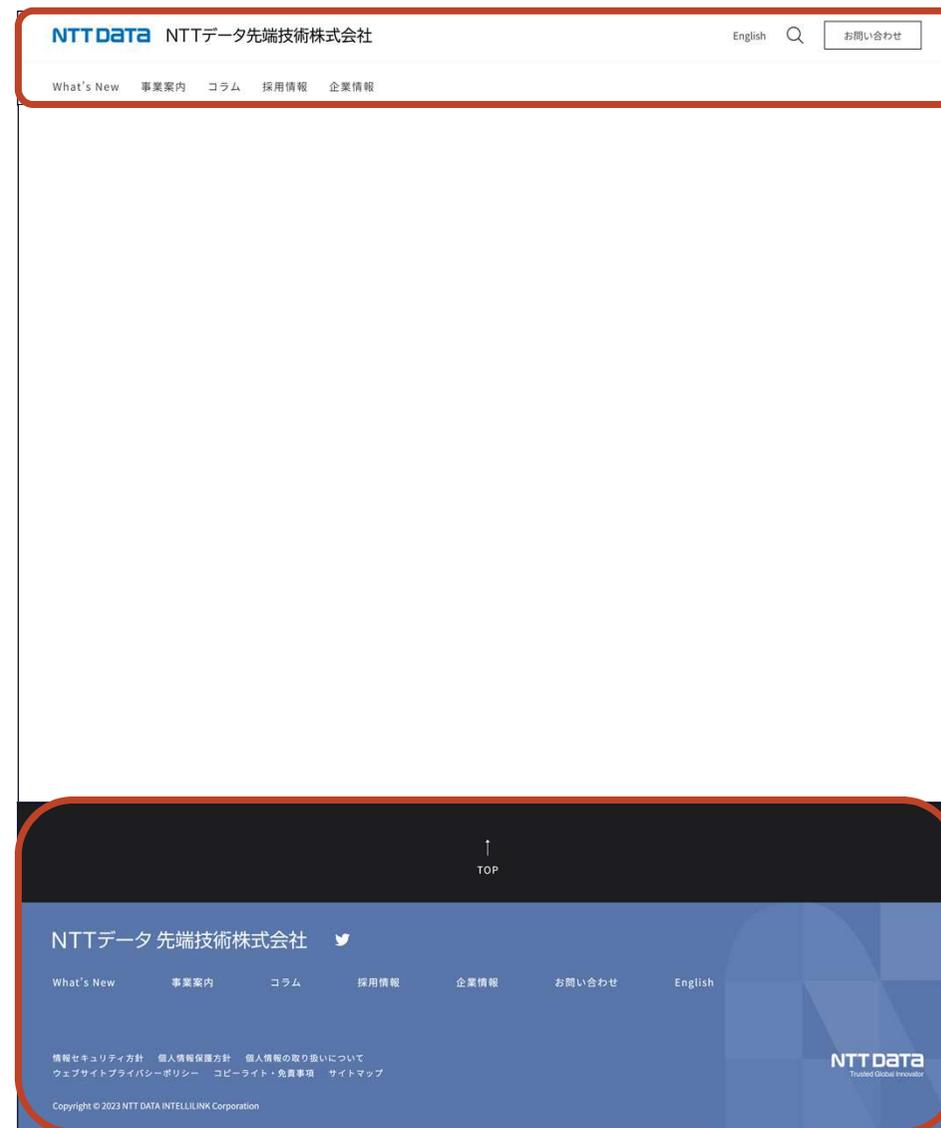
解決策

構成要素であるコンポーネントを充実させることで解決出来る

実際のコンテンツ編集のイメージ その1

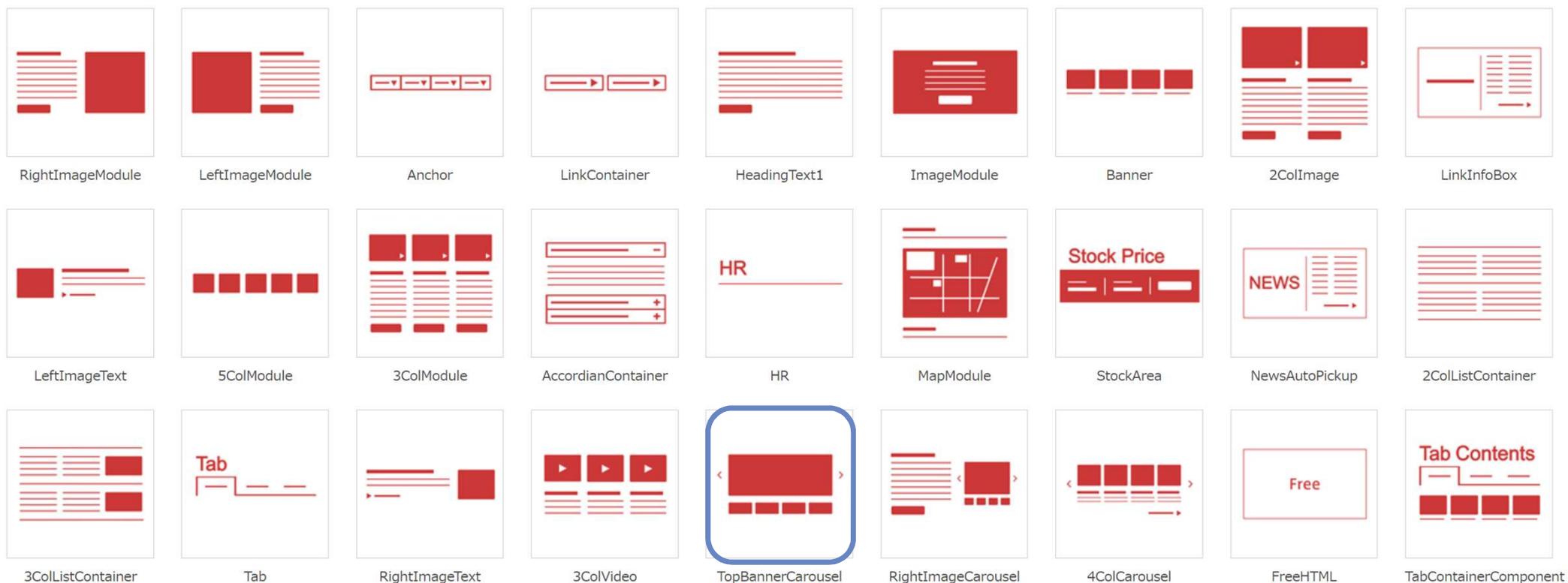
Sitecoreでコンテンツを作成する際は、まずテンプレートを挿入します。

今回の例では、グローバルナビゲーションとフッターナビゲーションのみのテンプレートとします。



実際のコンテンツ編集のイメージ その2

次にコンテンツに追加するコンポーネントを選択します。まずは、『カルーセルコンポーネント』を追加します。
※カスタマイズしたコンポーネントの一覧です。初期導入されるものではありませんので、ご注意ください。



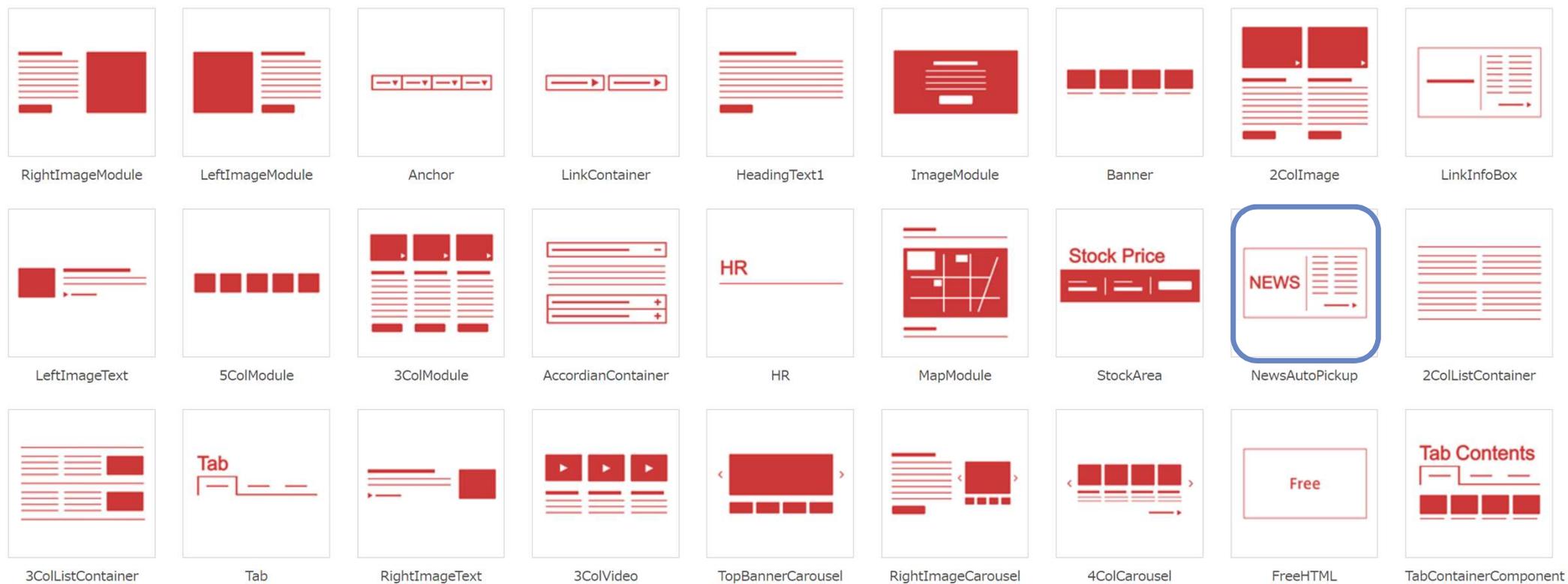
実際のコンテンツ編集のイメージ その3

『カーセルコンポーネント』を追加し、画像やテキスト、リンクを設定すると表示されているようなコンテンツとなります。



実際のコンテンツ編集のイメージ その4

次に『Newsコンポーネント』を追加します。



実際のコンテンツ編集のイメージ その5

Newsのコンポーネントを追加すると表示されているようなコンテンツとなります。

※このNewsコンポーネントは、Newsコンテンツの日付とタイトルを自動で取得するようにカスタマイズされています。

The screenshot shows the NTT Data website with a 'News' component highlighted by a red border. The component displays a list of news items with dates and titles. The main content area above the news list features a large banner for '事業案内' (Business Overview) with a background image of a city at night and a 'お問い合わせ' (Contact Us) button. Below the banner are several smaller article thumbnails. The footer contains navigation links, a 'TOP' button, and the NTT Data logo.

NTT DATA NTTデータ先端技術株式会社 English お問い合わせ

What's New 事業案内 コラム 採用情報 企業情報

事業案内

NTTデータグループにおける技術スペシャリスト集団として、6つの技術分野を中心に新しい価値を生み出し、お客様のビジネスへ貢献するべく事業を展開しています。

> お問い合わせ

News

- 2023年07月21日 監視もジョブもクラウドもHinemos基本機能のご紹介
- 2023年07月18日 -なりすましメール対策～DMARCとBIMIのすすめ～
- 2023年07月14日 実践！ゼロトラスト・セキュリティ～よくある誤解と正しい理解～
- 2023年07月13日 -データ駆動型ビジネスの課題と解決法
- 2023年07月12日 サイトに紐づいたActive Directory Certificate Services (AD CS)

↑ TOP

NTTデータ 先端技術株式会社

What's New 事業案内 コラム 採用情報 企業情報 お問い合わせ English

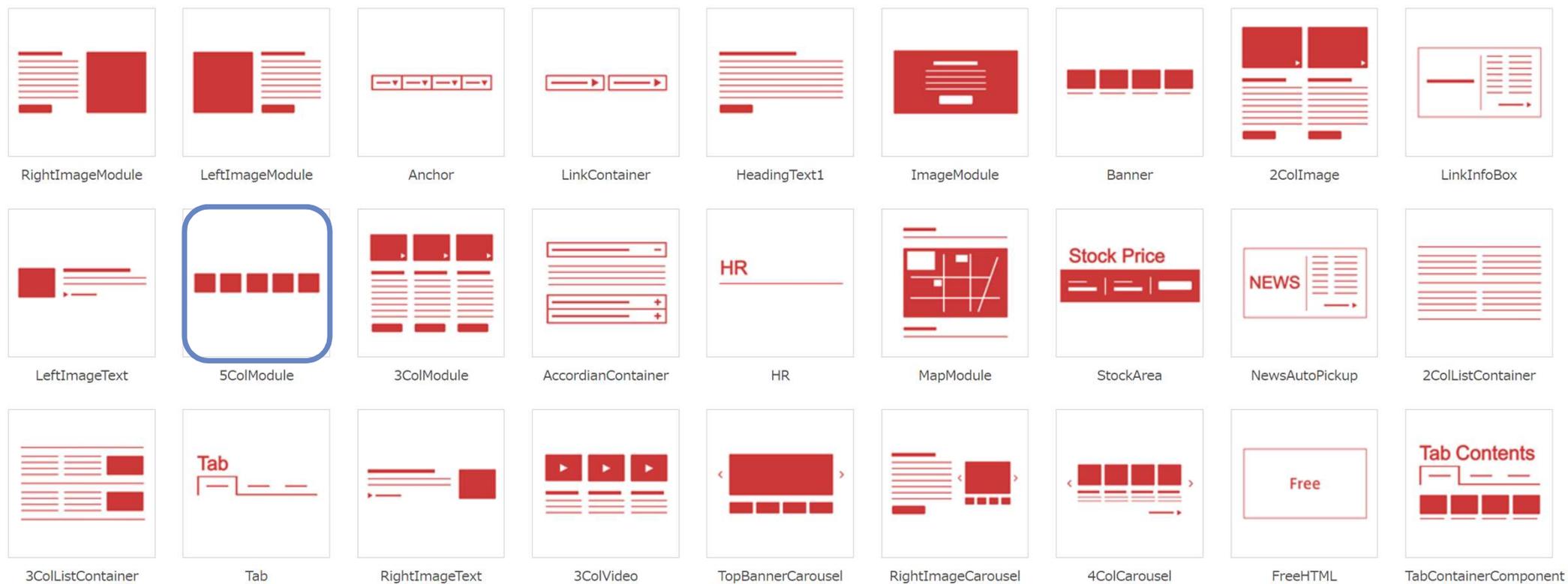
情報セキュリティ方針 個人情報保護方針 個人情報の取り扱いについて ウェブサイトプライバシーポリシー コピーライト・免責事項 サイトマップ

NTT DATA Trusted Global Innovator

Copyright © 2023 NTT DATA INTELLILINK Corporation

実際のコンテンツ編集のイメージ その6

次に『5列バナーコンポーネント』を追加します。



実際のコンテンツ編集のイメージ その7

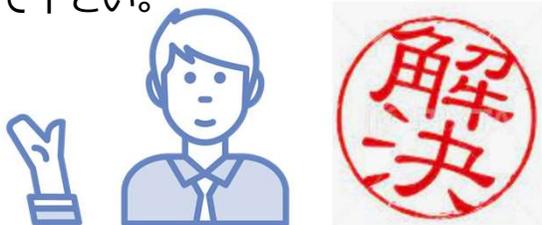
『5列バナーコンポーネント』を追加すると表示されているようなコンテンツとなります。

コンポーネントを組み合わせることで、コンテンツの画面構成の選択肢を広げることが出来ます。

ただし、採用サイトやランディングページなどデザイン会社が制作するような特設サイトなどは、コンポーネントが利用出来ない（しない）ことがあります。

その場合、折角あるCMSで管理されずにCMS外で管理されているケースも見受けられます。

その対策として、予めコンポーネントを利用出来ない（しない）ことを想定し、HTML・Javascript・cssをそのまま登録出来るコンポーネントを用意しておくことでCMSの中で管理することが出来ますので、ご検討してみてください。



事例② 新たなエディタが登場したことにより更にコンテンツを更新しやすく

CMSを運用するユーザが、尤も利用する機能は、コンテンツを編集するエディタとなります。よって、エディタの使い勝手がユーザにとって尤も重要となります。

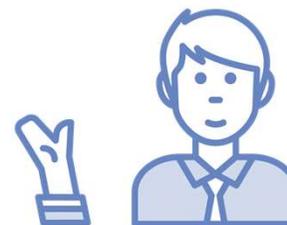
現 状

- 従来のSitecoreエディタは、コンテンツエディタとエクスペリエンスエディタがあり、切り替えて操作する必要がある。
- コンテンツエディタとエクスペリエンスエディタを同時に操作すると片方で更新した内容で上書きしてしまう恐れがあります。



理 想

- エディタを切り替えずにコンテンツの編集を行える。
- コンテンツエディタとエクスペリエンスエディタを同時に操作しても上書きが発生しない。



解決策

従来のコンテンツエディタ・エクスペリエンスエディタから次世代エディタである、Horizonエディタを切り替えることで解決出来る。

【従来】 Sitecoreコンテンツエディタ

コンテンツエディタは、コンテンツをツリー構造で管理します。

※URLがそのままツリー構造となっています。

- ① Webサイトをツリー構造を管理しています。URLがそのままツリー構造になったイメージです。追加したい階層で、テンプレートを追加することでコンテンツを作成することができます。
- ② コンテンツを選択し、タイトル・メタデータなどの基本情報を登録することができます。
- ③ コンテンツを選択した状態で、エクスペリエンスエディタを表示することができます。

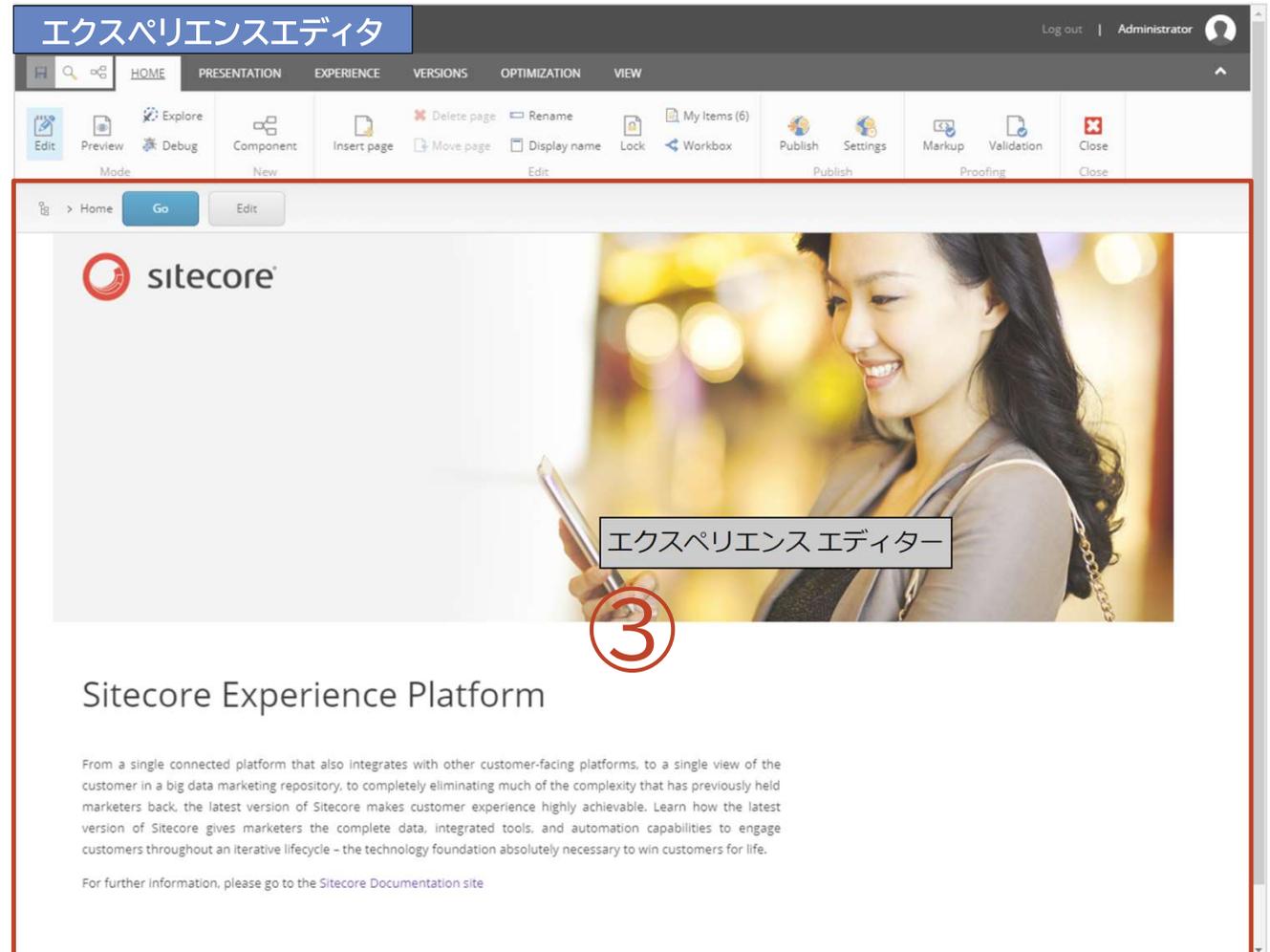
The screenshot displays the Sitecore Content Editor interface. The top navigation bar includes 'HOME' and 'PUBLISH' buttons. Below this, there are various action buttons such as 'Save', 'Edit', 'Duplicate', 'Copy To', 'Move To', 'Delete', 'Rename', and 'Display Name'. A search bar is visible in the center. The left sidebar shows a tree view of the content structure, with 'Home' selected under 'Content'. The main area displays the details for the 'Home' item, including its ID, name, path, template, and owner. The 'Data' section is expanded, showing 'Advanced', 'Appearance', 'Help', 'Indexing', and 'Insert Options' options. Red circles with numbers 1 and 2 are overlaid on the interface: circle 1 is on the left sidebar tree view, and circle 2 is on the 'Template' field in the item details.

Field	Value
Item ID	{110D559F-DEA5-42EA-9C1C-8A5DF7E70EF9}
Item Name	Home
Item Path	/sitecore/content/Home
Template	/sitecore/templates/Sample/Sample Item - {76030F-9F-3B0E-46D1-AF0A-4143F9B557AA}
Created From	[unknown]
Item Owner	sitecore\admin

【従来】 Sitecoreエクスペリエンスエディタ

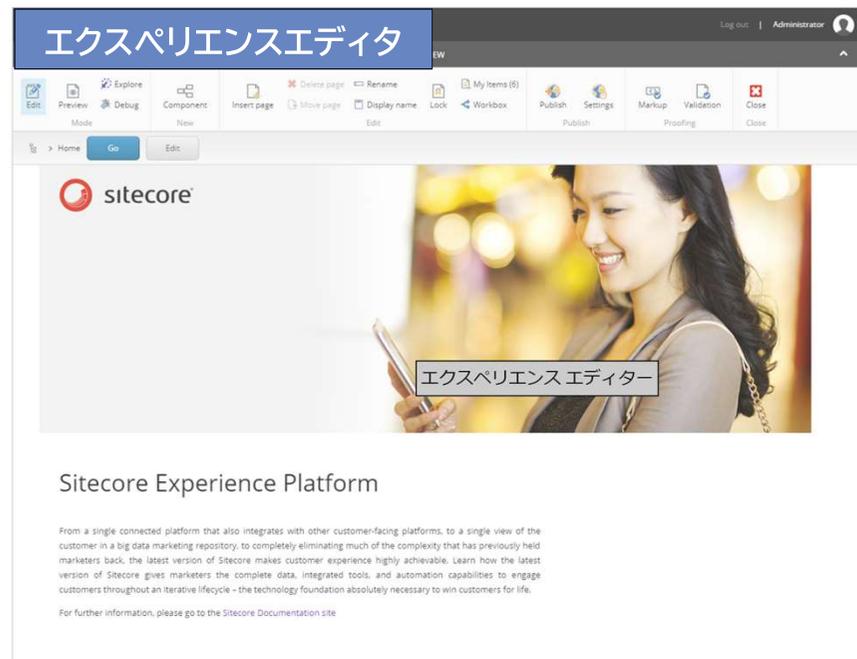
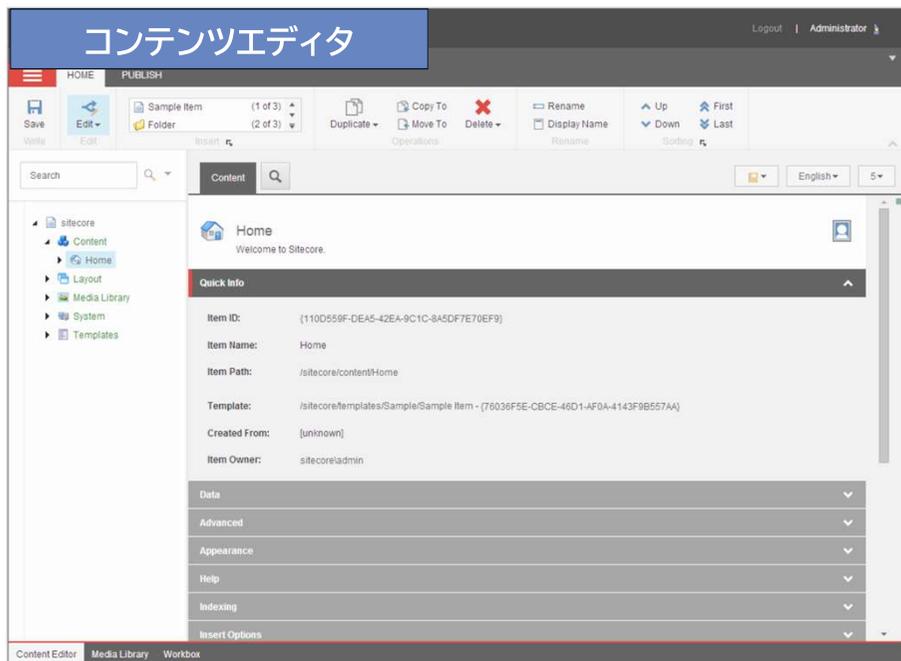
エクスペリエンスエディタは、コンテンツを見たままに編集することが出来るエディタです。

- ③ 直接ページ上から簡単にアイテムを変更できるWYSIWYG(ウィジウィグ)なエディタとなっています。コンポーネントの登録やメディアやテキストを編集を行うことができます。



【課題】コンテンツエディタとエクスペリエンスエディタの切り替え

エディタが2つあるため、以下の課題がある。



- コンテンツエディタとエクスペリエンスエディタを切り替えて操作する必要がある。
- コンテンツエディタとエクスペリエンスエディタを同時に操作すると片方で更新した内容で上書きしてしまう恐れがある。

【解決】 Sitecoreから次世代エディタが登場

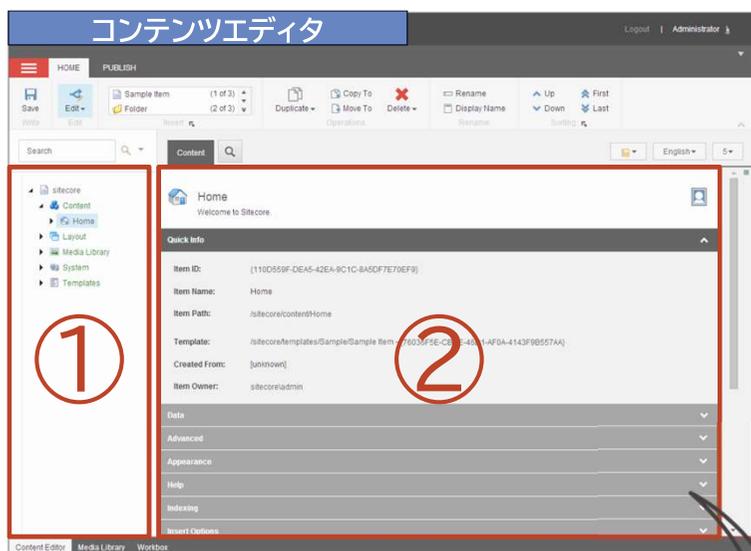
Horizonエディタは、コンテンツエディタとエクスペリエンスエディタが合体したエディタとなります。

The screenshot displays the Sitecore Horizon Editor interface. The main content area shows a 'Sample Rendering' of 'Example 1' with a placeholder for text. The right sidebar displays 'Content item details' including name, ID, workflow state, item path, creator, creation date, and template path.

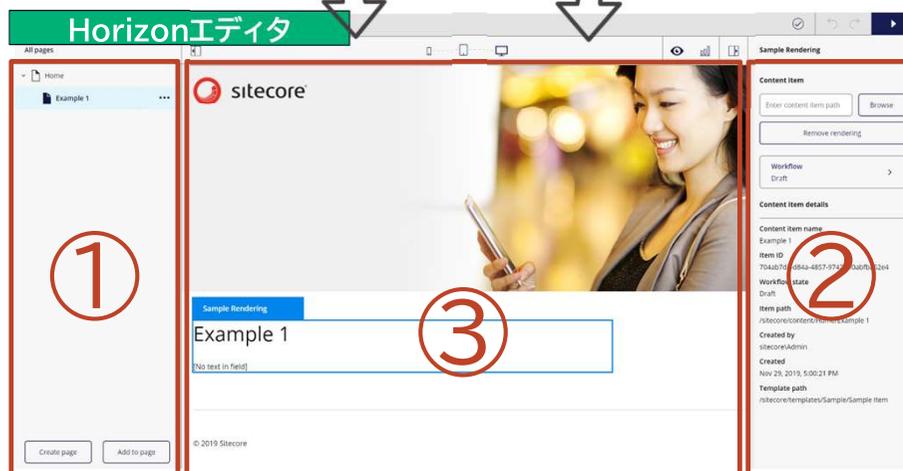
Content item details	
Content item name	Example 1
Item ID	704ab7d3-d84a-4857-9742-7f0abfba52e4
Workflow state	Draft
Item path	/sitecore/content/Home/Example 1
Created by	sitecore\Admin
Created	Nov 29, 2019, 5:00:21 PM
Template path	/sitecore/templates/Sample/Sample Item

新たなエディタの登場により更にコンテンツの更新しやすく

Horizonエディタは、コンテンツエディタとエクスペリエンスエディタが合体したエディタとなります。



コンテンツエディタとエクスペリエンスエディタが一体化したことで、エディタの切り替えやエディタ間の上書きが無くなります。



ただし、従来のコンテンツエディタやエクスペリエンスエディタから切り替えるには、開発が必要となるケースがあるので、Sitecoreをバージョンアップの際にご検討していただければと思います。

事例③ CMSを周辺システムとデータ連携を行いたい

Webサイトに表示されるデータの中には、周辺システムと連携して表示したいデータが存在します。
例えば商品データや予約データなどがあります。

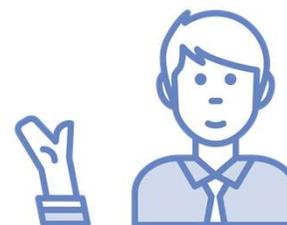
現状

- CMSと周辺システムがデータ連携していない。
- データ連携している場合でもI/Fが変わる度にシステム改修が発生してしまう。



理想

- 周辺システムとCMSをデータ連携したい。
- データ連携のI/Fが変わった際のシステム改修をなくしたい。

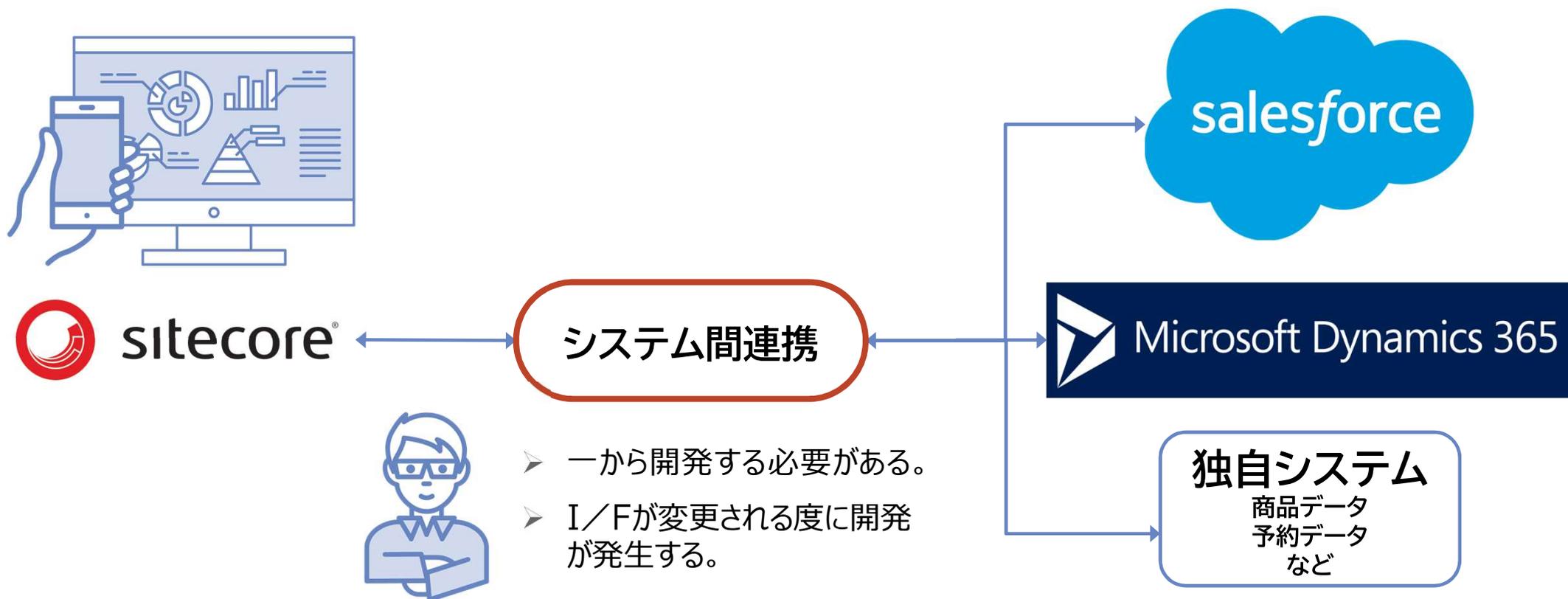


解決策

Sitecoreコネクで周辺システムとCMS間のデータ連携を容易に構築することが出来る。

【課題】 CMSを周辺システムとデータ連携するには

従来は、Sitecoreと周辺システムとデータ連携するには、システム間のデータ連携を一から開発する必要がありました。



【解決】CMSを周辺システムとデータ連携するには

Sitecore Connectが登場したことで、データ連携が容易になりました。

Sitecore Connectは、SalesforceやMicrosoft Dynamics 365などのサードパーティのマーケティングおよび販売ツールとビジネスを統合できるようにする統合ツールとコネクタのセットとなります。

また、独自システムとのデータ連携も出来るため、CMSと周辺システムとのデータ連携を容易に実現出来るようになっていきます。



事例④ 仕様変更柔軟に対応してほしい

WEBサイトは、一人ひとりにあった顧客体験をご提供するために、WEBサイトを柔軟に変化させる必要があります。そのためには、WEBサイトを柔軟に変化させる運用方法や開発体制が必要となります。

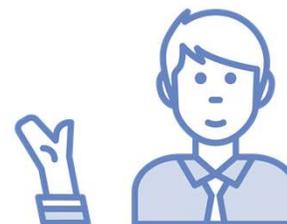
現状

- ウォーターフォールで開発した場合、設計→開発→テストといった流れで開発を進めるため、最終段階でないと成果が判断しにくい。
- また、最終段階でギャップが生じた場合、スケジュール遅れが生じやすい。



理想

- 最終段階に到達する前に成果を見せる機会を設けることが、出来れば手戻りが無くせる。



解決策

アジャイル開発を取り入れよう

【解決】 アジャイル開発を取り入れよう

Webサイト(CMS)の運用保守は、アジャイル開発と親和性が高いです。

- 小規模な作業タスクに分割しやすい
- 一定間隔で成果を出しやすい
- 見た目の改修が多く、早い段階でギャップを埋める必要がある

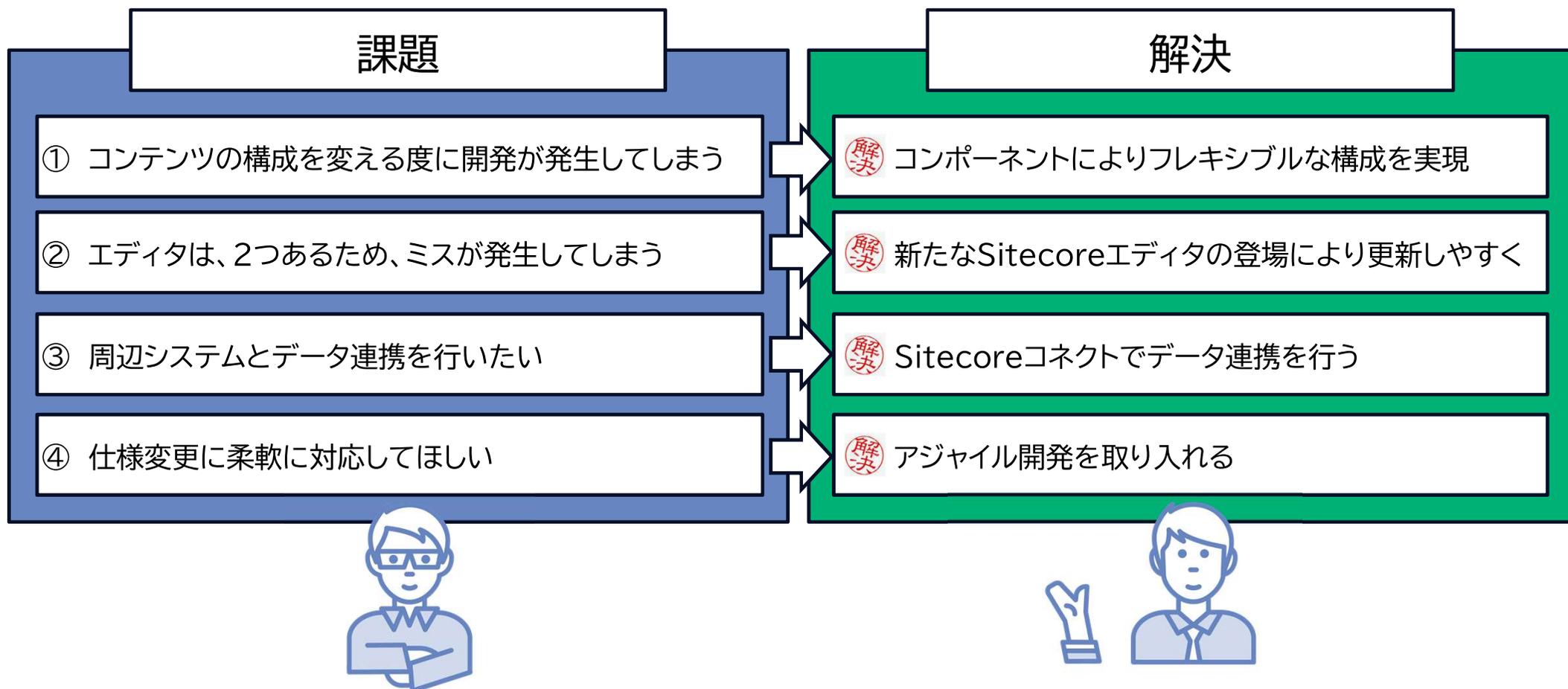


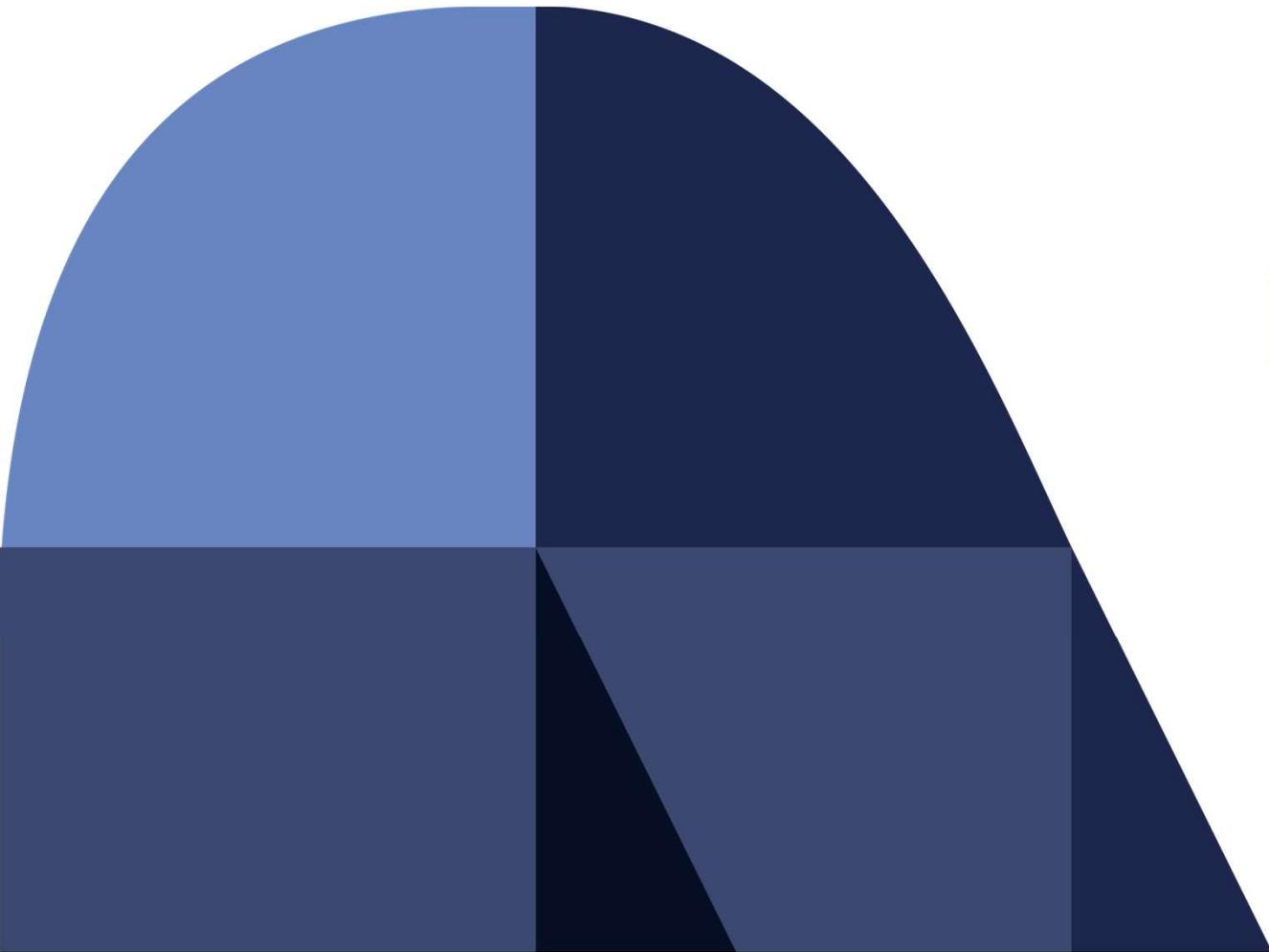
ただし、アジャイル開発は、仕様変更を柔軟に対応出来る反面、一貫性を保ちにくいので、ご注意ください。
また、アジャイル開発に慣れた開発チームが必要となります。

最後に

最後に

今回は、一部の事例紹介ですので、WebサイトやCMSでお困りごとがあれば、ご連絡いただければ幸いです。
最後までご清聴ありがとうございました。





NTT DATA
Trusted Global Innovator